

ゼミナール紹介

担当者名	新井立夫										
e-mail アドレス	tatsuo@bunkyo.ac.jp										
研究室	3 5 3 8										
在室曜日・時限	月：1, 3 水：2, 5 木：1, 5										
個別説明会（日時・場所）	随時メール等で、問い合わせをしていただければ、対応いたします。										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	場所	<p>オンライン見学（9:10～10:40）、10/13以降、対面・ハイブリッド予定 ZoomURL等 https://zoom.us/j/92561556898?pwd=YmRDMXJtaVA0NkFCa2V6Q3ZpaWxTQT09 ミーティング ID: 925 6155 6898 パスコード: 315546 見学希望者は、なるべく事前にメールで連絡するようにしてください。</p>									
2021年度担当科目	基礎簿記演習、キャリア形成基礎、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、総合演習、教育実習B（高校）、教育実地研究、教職実践演習、キャリア・職業指導、インターンシップ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究、公共経営実地演習、教職概論、生徒指導・進路指導論										
選抜方法	提出書類、成績及び面接結果等を総合的に勘案して選抜を行う。										
ゼミナール紹介	<p>本ゼミナールは、キャリア教育（進路指導含む）及びキャリアカウンセリングの必要性を認識し、企業の人材育成の仕事に従事したい者、公務員を目指す者や教職に就くことを目標とする者、あるいは、将来「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」などの取得を目指す学生に履修してほしい。</p> <p>学習は、キャリア教育の意義、必要性を理解することから始まり、キャリアカウンセリングの理論や演習を通し、キャリアコンサルティング、キャリアアドバイザーなど「他人のキャリアを支援する」専門職に就ける人材育成とともに、「自分のキャリアを見つめなおしたい」という目的などを体験的に学び、キャリアビジョンを描き、意図的に行動し、実践できるようになることが、到達目標である。また、必要に応じて研究発表会、ゼミ遠征（新型コロナ感染状況による）、自主的な勉強会を実施するものとする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①授業中に明示する重要なポイントを概ね理解できる。 ②キャリア教育・進路指導の実態とその課題を理解できる。 ③キャリアカウンセリングの必要性を認識し、職業をめぐる諸問題を多面的に学習し、進路指導・キャリア教育の推進のなかで実践できる。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	青木 勝一										
e-mail アドレス	masa@bunkyo.ac.jp										
研究室	3401										
在室曜日・時限	火曜 3 限 木曜 3 限 金曜 2 限										
個別説明会（日時・場所）	<p>10月13日（水）、10月27日（水） ○時間：12:40～13:00 ○場所：3402 研究室（教育研究棟 4 階南） 事前登録制ですので、希望者は前日までにメールで連絡をお願いします。 個別での質問がある場合は、随時受け付けますので、メールでお願いします。 ただし、この場合は原則メールのみの回答になると思います。</p>										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
	場所					図書館 2F プレゼンシア					
		<p>【10/29 追記】ゼミの授業風景動画です。見学困難な方は是非ご覧ください https://drive.google.com/drive/folders/1c3-d9TENjUdSqRpk3euwAwLkG8-CmT9p?usp=sharing</p>									
2021 年度担当科目	公共経営入門、公共経営論、地域経営論、非営利組織論、経営学特論 B、知の探究、アカデミック・リテラシー、ゼミナール I、ゼミナール II										
選抜方法	成績、希望調書、場合により面接を実施										
ゼミナール紹介	<p>公共政策は、かつて行政組織が担うと考えられていたが、今では市民団体や NPO など「新しい公共」へとその担い手が広がり、市民一人ひとりが能動的に社会的課題を考えていく時代へと変容を遂げている。本ゼミではこの現状を踏まえ、学生が公共分野の課題に対して市民の一人として社会的課題をとらえ、考える能力を身につけることを目的とする。したがって、公務員志望者だけでなく公共的・社会的課題に関心を持つ学生の参加を予定している。</p> <p>テーマは公共政策に関わる地域的課題である。3 年生は各自の関心に基づき幅広いテーマを扱い、4 年生は卒業論文のテーマに絞ることを基本とするが、具体的なテーマは参加者の関心に基づき開講時に決める。</p> <p>ゼミの進め方は各自が決めたテーマ（まちづくり、地域振興、福祉政策など）について、1 回につき 1 人（あるいはグループ）で調査報告を行う。報告後の残り時間は、報告に基づくゼミ生同士でのディスカッションに充てる。</p> <p>これまでに公共経営論の授業を履修しているかどうかは問わない。選んだテーマについて、「何が問題か」という点をじっくりと考えて報告してもらいたい。他の学問分野同様、公共経営・公共政策では、制度、統計、実務現場での現状、利害関係者の関係などをよく吟味したうえで課題をとらえなければならない。ゼミでの報告でもこれらを踏まえた報告を期待する。</p> <p>また、そうして設定した課題に対する解決策も報告してもらおうが、ゼミではこの解決策について参加学生同士での活発に議論してほしい。最終的な解決策は何か一つ選択しなければならないが、その際、最適解は一つではないという前提で様々な解決案を比較考量する考え方を身に付けてもらいたい。</p> <p>公務員はもとより、公共経営に何らかの形で携わる場合、こうした思考方法の習得が必ず役に立つはずである。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名		浅川 雅美										
e-mail アドレス		asamasa@shonan.bunkyo.ac.jp										
研究室		1316										
在室曜日・時限		あだち校舎出校日は月曜日です。										
個別説明会（日時・場所）		事前に、メールをいただければ、月曜日（あだち校舎出校日）の午後に、個別に対応致します。										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/15	11/22	12/6	
	可否						○	○	○		○	
	場所						1101	1101	1101		1101	
2021 年度担当科目		消費者行動論（経営学部、健康栄養学部） 生活と広告、統計学、個人と社会（健康栄養学部） コミュニケーション戦略特講A（情報学部） ゼミナール（経営学部）										
選抜方法		ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。										
ゼミナール紹介		<p>前期は、後期に実施する調査のテーマを決めるために、実際の学术论文を検索して、読んで、その内容を発表してもらいます。そして、後期に向けて、研究テーマを決定します。</p> <p>後期は、前期に決めたテーマで、調査を実施してもらいます。具体的な進め方は、以下のとおりです。</p> <p>調査票を作成する 調査実施 データを入力する データを集計する プレゼンテーション レポート提出</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	石田 晴美										
e-mail アドレス	ishida@bunkyo.ac.jp										
研究室	3519 研究室										
在室曜日・時限	在室不定期。質問等はメールまたは Zoom 等のオンライン会議で行う。										
個別説明会（日時・場所）	実施しない。 ゼミ見学は全てオンライン見学とする。見学希望者は事前に教員にメールすること。希望者にオンライン会議の URL を連絡する。										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	オンライン 見学										
2021 年度担当科目	基礎簿記演習、財務諸表分析演習、公会計、財務会計論、行政評価、知の探究、知のリテラシー										
選抜方法	定員超過の場合は、Zoom 等によるオンライン面接を実施する。										
ゼミナール紹介	<p>本ゼミは「財務会計」「公会計」「行政評価」をテーマとする。</p> <p>教員が与えたテーマについて学生が調べ発表する形式と企業等の財務諸表分析発表を交互に行う。各テーマでは、基本書・参考書その他、各種会計基準等の原本に必ず触れることを心がけている。</p> <p>ゼミ在籍中に日商簿記 3 級試験に合格することがゼミ生に課せられる最低限の課題である。</p> <p>評価方法は、ゼミナールへの参加、授業への取り組み、課題の提出、日商簿記 3 級の資格取得等により評価する。無断欠席は認めない。</p> <p>ゼミは、学生自らが調べ考え、発表する場であることを肝に銘じること。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	石塚 浩										
e-mail アドレス	ishizuka@bunkyo.ac.jp										
研究室	3410 研究室										
在室曜日・時限	10月11日以降、月曜午後 火曜午後 金曜午後										
個別説明会（日時・場所）	実施しない										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	場所	online	online	online	online	2106	2106	2106	2106	2106	2016
2021 年度担当科目	人間と経営学 経営管理論 組織デザイン論 組織行動論										
選抜方法	<p>成績 面接 志望書</p> <p>※選抜に関わる連絡を学籍番号メールで行う</p> <p>※Online で実施のゼミを見学したい者には、メールで連絡をくれれば Meet の URL を送る。</p>										
ゼミナール紹介	<p>ゼミナールⅠでは、企業の戦略行動の基礎にある論理を探ることを通して、具体的な経営戦略について考えていく。最初は、経営戦略の基本的な概念を理解し、それをベースに現実の企業の事例研究に取り組む。ゼミナールⅡでは基礎的な理解が備わったところで事例研究をさらに深めていく。各事例における多様な経営問題を考えることで、理解力と思考力を養う。問題解決に求められる能力の獲得が、ゼミナールⅠとⅡを通じた達成目標である。</p> <p>毎回の基本的なゼミの進め方は、事前に配布された資料をもとに報告者2名が内容を報告する。報告に対する質疑応答のあとで、グループワークを行う。自ら思考し自ら主張すること、チームで議論し結論を導くことを重視する。</p> <p>卒業研究ではゼミナールで学んだことをベースに、各自の興味と関心を出発点にして卒業論文を作成してもらう。なお本研究室では、所属学生の全員に卒論作成を求める。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	金 必中(キム ピルチュン)				
e-mail アドレス	pjkim@bunkyo.ac.jp				
研究室	3535				
在室曜日・時限					
個別説明会 (日時・場所)	※ Zoom による オンライン個別説明会 となります。 参加希望者は、 事前に メールで連絡ください。日程は、個別に調整します。				
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/11 16:30-18:00	10/18 16:30-18:00	10/25 16:30-18:00	※ ゼミ見学を希望する学生は、 希望 日前日まで、上記メールアドレスへ メールください。Zoom のミーティン グ ID とパスワードを送ります。
	可否	○	○	○	
	場所	Zoom	Zoom	Zoom	
2021 年度担当科目	マーケティング、マーケティング戦略、マーケティング戦略事例研究、 マーケティング・リサーチ、マーケティング・リサーチ演習、流通論、 ビジネスソリューション演習、知へのナビゲーション				
選抜方法	提出書類、成績、Zoom による面接などを総合的に勘案して選抜を行う				
ゼミナール紹介	<p>金ゼミは、マーケティングと流通に関して詳しく勉強するゼミである。事例研究とグループ研究調査活動を通じて、企業のマーケティング活動について幅広く理解するとともに、それに関連する諸問題について研究と調査を行い、マーケティング戦略の実戦的で専門的な知識とノウハウを習得することを、目標とする。</p> <p>ゼミは、3 年生では、事例研究と文献研究、小グループ活動を中心に行う。ゼミ参加学生の関心分野を中心に最も興味深いテーマを選定して、効果的で効率的なマーケティング戦略について考えてみる。必要に応じて企業などの見学も行い、一連の作業過程とその結果物をまとめて発表しながら進めていく。そして、実戦的な知識と調査分析手法を習得し、各自の問題解決能力やプレゼンテーション能力を高めるとともに、ゼミ生全体のレベル・アップを図る。</p> <p>4 年生では、各自それぞれ問題意識を極めながら興味深いテーマを選定し、戦略代替案の策定を工夫・探求し、卒業論文としてまとめて発表できるように進める。社会進出の際に直面する諸問題に対応できる、問題解決能力の習得を目指す。</p> <p>マーケティング研究は人間の研究でもあり、ゼミの活動やその成果はゼミ生のリレーションシップとチームワークが何より大切である。したがって、金ゼミは、やる気と誠実さ、マーケティング研究に強い興味と関心をもち、真面目に学問探求に取り組む意思と姿勢をもっている学生の参加を求める。そして、多様なゼミ活動やゼミ合宿などの際には、原則全員参加とする。</p>				

ゼミナール紹介

担当者名	首藤 洋志										
e-mail アドレス	shuto@bunkyo.ac.jp										
研究室	3414										
在室曜日・時限	火、水、木。事前にアポイントのメール連絡後、個別相談日時等の調整を行う。										
個別説明会(日時・場所)	個別説明会は実施しないが、10/6(水)12:30～13:00 に予定されている全体の「ゼミナール説明会」にて補足説明を行う。また、質問事項は随時メールで受け付け、メールや Zoom 等で追加説明を行う。										
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	可(オンライン見学)			否	可(見学方法は未定)					
	場所	<p>見学希望者は、見学希望日の2日前までにメールで連絡すること(※)。見学人数確定後、オンライン見学の Zoom URL を連絡する。</p> <p>(※)学籍番号、氏名、見学希望日を記載。</p>									
2021 年度担当科目	財務会計論、中級簿記、企業会計、アカウンティング演習 A、連結会計、監査論、知へのナビゲーション、デジタル表現基礎										
選抜方法	①Google フォームに記載の志望動機、②成績(GPA)、③面接及び④ゼミナール見学状況を総合的に勘案して選抜を行う。										
ゼミナール紹介	<p>主なテーマ…【財務会計・国際会計・財務諸表分析】</p> <p>日本の会計基準のみでなく、国際財務報告基準(IFRS)も扱う。</p> <p>概要…主として、以下の内容を中心とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 輪番読書 持ち回りで読書プレゼン・ディスカッションを行う。 ➢ テキストの輪読 課題テキストについて、分担を決めて発表し、ディスカッションを行う。 ➢ 財務諸表分析(経営分析) 上場企業について、財務指標の比較等を通して財務諸表分析を行う。 <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ゼミの仲間と協働し、多様性を受け入れる。 ➢ 主体的に考えたうえで、積極的な発言でディスカッションに参加する。 ➢ 個人(チーム)発表について、自信をもって発表できるように準備を行う。 ➢ 財務諸表の分析手法を学び、財務諸表を読むことができるようになる。 ➢ 各自1年ごとに目標を定めて、その目標達成に向けて努力する。 ➢ 4年次には、卒業論文を執筆する。 <p>教員が大事に考えていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ゼミの主役はゼミ生である。 ➢ ディスカッション等への参加意欲、プレゼン能力の向上意欲をもつ。 ➢ 一生懸命学び、仲間とともに大きく成長する意識をもつ。 ➢ 社会人になるための基礎的な礼儀作法を習得し、社会的な心構えをもつ。 ➢ 同学年のゼミ生、先輩ゼミ生(4年生)とのコミュニケーションを大切にする。 ➢ 学ぶときは全力で学び、楽しむときは全力で楽しむ！！！！ <p>イベント・企画</p> <p>ゼミ長、副ゼミ長を中心としたゼミ生企画のもと、①懇親会、②プレゼンテーション大会、③ゼミ合宿等を企画する。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	鈴木 誠										
e-mail アドレス	mcsuzuki@bunkyo.ac.jp										
研究室	3501 研究室										
在室曜日・時限	水曜日 (1・2 時限)、木曜日 (3・4・5 時限)、金曜日 (1・2・3 時限)										
個別説明会 (日時・場所)	説明会は感染予防の観点からオンライン (OL) により、以下の見学可能日の 9 時 10 分と 10 時 50 分からそれぞれ 10 分間実施します。										
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×
	場所	OL	×	OL		OL	OL	OL		OL	
2021 年度担当科目	ゼミナール I・II、ファイナンス、ファイナンスとコーポレートガバナンス、国際地域論 C、データ処理基礎、企業と市場の経済学、知のリテラシーほか										
選抜方法	○成績 (GPA) と英語、ならびに設定科目 (ファイナンスやミクロ経済学) の成績、○金融機関を志望する学生、○学習に積極的に取り組む姿勢のある学生、以上の要素を総合的に判断して決定します。										
ゼミナール紹介	<p>鈴木ゼミは①将来の就職先として金融機関を志望する学生、②金融の知識を授業のファイナンスよりもより深く、より幅広く学習し、将来に向けて活躍したいと考える学生、③英語のテキストで金融を勉強することに興味がある学生、の応募を歓迎します。(ただし、自分が英語やファイナンスが不得手である場合、学習上の負荷がかかることが予想されますから、よく検討の上応募してください)</p> <p>鈴木ゼミでは、ゼミ I では前期にファイナンスの英語テキストによる輪読、後期は輪読に加えて、毎月 1 回 SPI テストを行います。また、近年の就職試験に頻出傾向のあるグラフや表の見方の指導を行います。</p> <p>4 年時のゼミ II は本人の進路やゼミ I の成績に基づき参加が決まります。ゼミ II では英語テキストの輪読と就職を見据えて、外部講師による金融機関の現場の講和を聞く機会やインターンシップ等 (全員ではありません) の案内も適宜行っています。</p> <p>また、コロナ感染が終息した場合、3 年生、4 年生共通のイベントとして夏休みに 1 週間山形県最上町にて「農業体験合宿」を実施します。この合宿は原則として全員参加としています。合宿の目的は、農産物の収穫体験を通して、ゼミの人間関係を深め、農業生産の重要性を学び、同時にわが国の地域社会を知ることにあります。滞在期間中には BBQ、すいか割り、そば打ち体験等のイベントを行い、地元の方々との親交を深めます。合宿は原則全員参加ですから、ゼミ選択の際によく考えて応募してください。また、希望者数次第ですが「NY の金融を知るゼミ旅行」も行えたらよいと思います。</p> <p>○オンラインによるゼミ説明会は以下の URL から参加してください。 https://zoom.us/j/6155617775?pwd=dThsc3liNUhzMHV2U0VEUy91a3pRdz09 ミーティング ID: 615 561 7775 パスコード: 957438</p>										

ゼミナール紹介

担当者名		田中 克昌									
e-mail アドレス		k.tanaka@bunkyo.ac.jp									
研究室		3510 研究室									
在室曜日・時限		(対面授業の復活後) 水 2 限、木 2 限・3 限、金 3 限									
個別説明会 (日時・場所)		個別説明会はありません。 個別面談を希望の場合は、事前に電子メールで連絡ください									
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	○	○	○	状況に応じて対応します					
	場所	ZOOM	ZOOM	ZOOM	ZOOM						
2021 年度担当科目		経営戦略論、情報化戦略、中小企業経営論、ビジネスモデル設計演習、プログラミング、知の探究、社会人基礎力演習									
選抜方法		定員を上回った場合には、面接をお願いする場合があります									
ゼミナール紹介		<p>経営戦略論やイノベーション論を中心に実践的に学修するゼミです。経営戦略の視点から、志望する業界を縦横無尽に探求し、興味のある業界や企業に関する分析を行い、知見を深めるとともに、就職活動やその後の社会人活動で戦える能力を身に付けます。</p> <p>また、経営コンサルタント（中小企業診断士）としての演習も行い、企業の課題を見つけ、経営戦略を立案し、提案する能力も身に付けます。実際に、経営コンサルタントとして活躍しているプロのコンサルタントにも登壇いただき、ゲストスピーカーとして指導いただく機会も設けます。</p> <p>本ゼミでは、卒業論文を書いていただきます。卒業論文は、大学での学修の証となるだけでなく、就職活動にも役立ちます。さらに、今後、社会人になり、能力を高めたいと思い、改めて、大学院等で学修したくなったとき、卒業論文を書いていないと大学院には入れません。将来の自分に対して責任を持つためにも、書くことをお勧めします。</p> <p>なお、秋学期の前半のゼミは、リアルタイム・オンライン授業となります。「水曜日 1 限」の時間内に以下からアクセスください。</p> <p>ZOOM のアドレスは、以下です。 https://zoom.us/j/5435998107 (ミーティング ID: 543 599 8107)</p> <p>※見学した際、ZOOM のチャットに学籍番号と名前を記載ください。</p>									

ゼミナール紹介

担当者名	遠山道子										
e-mail アドレス	toyama3@bunkyo.ac.jp										
研究室	3431										
在室曜日・時限	10/9 までは在室日時未定。										
個別説明会（日時・場所）											
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	場所										
2021 年度担当科目	英語、知のリテラシー、ゼミナール										
選抜方法	履修状況や場合により面接を行い選抜										
ゼミナール紹介	<p>このテーマは「ことば」です。このテーマに関して読む・調べる・実験・分析・発表したい皆さんを歓迎します。</p> <p>経営学部では唯一の言語学ベースの異色なゼミとなりますので、ご自身の将来の目標を踏まえ熟慮し、本当に興味が持てそうであれば選択してください。日本語、英語、音声コミュニケーション、外国語、ことばと社会、ことばと文化、ことばと心理、などをキーワードとして、調査や実験に挑戦してみたい人に向いていると思います。</p> <p>◆このゼミで学べること</p> <p>3 年春学期は「ことば」とは何かを理解してもらうために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の言葉と動物のコミュニケーション ・人間のコミュニケーションの多様性 ・世界の様々な文字 ・ジェスチャー・手話・言葉の違い ・日本語と英語の音声的な違い ・言語の獲得と喪失 <p>等の言語学の入門的トピックを扱った文献を輪読してもらいます。輪読とは、皆で協力して理解していく作業です。遠山ゼミでは、分担箇所の発表資料を作成し、わかりやすい言葉で伝え（発表）、読んだ内容について質疑応答・議論してもらうことで、読む、まとめる、資料作成、伝える、質疑応答、議論のスキルアップを目指してもらいます。</p> <p>メンバーの様子を見ながら、春学期の途中もしくは秋学期から「ことば」に関する社会科学分野の論文を題材とし、読み方、書き方、調査方法、実験方法、分析方法を学びます。そして最終的には各自がテーマを決め、文献調査・アンケート調査または実験を行い、独自の研究結果をまとめ、4 年秋学期に発表となります。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	根本 俊男										
e-mail アドレス	nemoto@bunkyo.ac.jp										
研究室	教育研究棟 4階 3422 研究室										
在室曜日・時限	水曜日・金曜日										
個別説明会（日時・場所）	特に説明会は実施しません。10月13日以降のゼミは対面で実施しています。ゼミ見学は水曜日10時から12時ごろに可能です。せっかくなので時間があれば見学だけでなく、ゼミに参加してプチ体験を楽しんでください。個別相談も対応可能です。研究室のドアを気軽にノックしてください。										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	場所					1101	1101	1101	1101	1101	1101
2021 年度担当科目	スケジューリング, ネットワークモデル分析, 最適化モデル分析, 問題解決技法演習										
選抜方法	「スケジューリング」単位取得済, および, 「ネットワークモデル分析」単位修得済が現在履修中で単位取得見込みの状況であることが志望の前提条件です。志望者多数の場合は, 「スケジューリング」の成績と「ネットワークモデル分析」の授業参加 (または成績) 状況を基に選抜します。										
ゼミナール紹介	<p>現代社会で重要な能力として広く認知され希求されている「問題解決力を有した人材」を育てるゼミナールです。ゼミナールで用いる主な道具は, 2年次に学んだ (学んでいる) 「ネットワークモデル分析」や「スケジューリング」といった経営科学分野の講義を通じて習得した科学的なツール群 (オペレーションズ・リサーチ) です。これらの問題解決手法の理解をさらに深め, それらを総合的に結び付け, 社会で生じるさまざまな問題の解決に向け活用できる能力習得を到達目標とします。</p> <p>このように書くと, 理論を学びパソコンに向きあうとのイメージを抱くかもしれません。しかし, 問題解決の総合力は実践を伴い涵養されます。手と頭の両方を実際に動かし, 様々な問題解決の実践を通じて問題解決力を養います。</p> <p>具体的には, 3年次前半では主に問題解決手法に関する専門書に沿って各自が発表し, 議論を通じて問題解決に必要な基礎知識や基礎ツールの使い方の補強を行います。あわせて, 物事の見方の図解法, 他者とのコミュニケーション手法のトレーニングも行います。夏休みには, 全員参加で夏合宿を予定しています。3年次後半では, より実践的な実習で理解を深めます。問題解決に利用できるソフトウェアも扱います。学外での政策/ビジネスコンテストへチャレンジするゼミ生もいます。4年次には, 各人が設定したテーマの下で卒業研究に取り組み, 大学4年間の学びの集大成となる卒業論文を作成してください。</p> <p>新しいことにチャレンジしたり考えたりするのが嫌いではないけど, 今まであまりアクティブではなかった。でも, ゼミナールでは「自分で取り組んだ」と実感できる創造的な活動をやって卒業したいとの願望をしっかりと持っている方に向いているゼミナールです。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	堀田 敬介										
e-mail アドレス	khotta@bunkyo.ac.jp										
研究室	3530										
在室曜日・時限	月・水・木										
個別説明会（日時・場所）	単独の説明会を行わないが、質問等があればメールにていつでも受付可。ただし、メールの書き方はビジネスマナーに則ること										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	場所										
2021 年度担当科目	「問題解決技法入門」「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」「知の探究」「英語文献研究」「意思決定科学」他										
選抜方法	前提科目を満たしていること。定員を超えた場合、前提科目及び「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」履修済/成績上位の学生を優先。面談等は実施しない										
ゼミナール紹介	<p>社会や企業など、複数人の個人や集団が活動する組織には、解決を待っている問題がたくさん潜んでいる。より良い活動や組織運営のためには、それらの問題を見つけ出し（問題発見）て、きちんと定義し（問題定義）、改善のために適切なモデル化を行い、上手く解き、得られた解を評価し、解決策を提示する、という一連の意思決定過程（問題解決）を要する。昨今、巷では AI が話題であるが、そこで重要な影の技術の 1 つは最適化である。</p> <p>本ゼミでは、1, 2 年次に得た基礎知識を再確認し、この問題発見・問題解決の勉強に取り組む。特に問題解決のための最適化の手法について、その前提となる知識の再確認・演習と、使いこなすための講義・演習を行う。学生が、現実の事例や、将来、自身に関わる問題について、問題発見、モデル化・定式化から解の導出、評価・改善・提案を一人で実施できるよう、最適化の技術・知識をしっかり身につけることを目標とする。</p> <p>ゼミに所属した際には、「DS/OR 系」のうち以下 5 科目を履修することを課す。これらは全て、本ゼミの目標達成に必要な知識・技術であるので、それぞれしっかり取り組み単位取得して欲しい。</p> <p>標準履修 2 年次の 3 科目（未修得の場合） 3 セメ「問題発見技法(2)」「スケジューリング(2)」 4 セメ「ネットワークモデル分析(4)」</p> <p>標準履修 3 年次の 2 科目 5 セメ「最適化モデル分析(4)」 6 セメ「意思決定科学(4)」「問題解決技法演習(2)」</p> <p>※ただし、卒業に必要な必修/選択必修科目と曜日時限が重なる場合は、そちらの科目を優先してよい</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	森 一将										
e-mail アドレス	morik@bunkyo.ac.jp										
研究室	3411										
在室曜日・時限	相談は随時受ける（原則オンラインとなる）。メールでアポイントメントをとること										
個別説明会（日時・場所）	相談は随時受ける（原則オンラインとなる）。メールでアポイントメントをとること										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライン									
2021 年度担当科目	基礎統計、統計データの扱い方、経済データ分析、多変量のデータ解析										
選抜方法	定員を超えた場合はエッセイ（データ分析の合理性に関する論述）と面接により選抜を行う予定です。										
ゼミナール紹介	<p>森ゼミでは、マーケティングなどの経営データ分析の基本的な理論体系の習得と分析結果に関する論述力をつけるためのトレーニングを行います。森ゼミが目指すのは経営をサイエンスの視点から合理的に扱うことのできるビジネスパーソンの育成です。一緒に頑張っていきましょう。</p> <p>【春学期】基礎力の養成の時期です。統計パッケージ「R」を利用してデータサイエンスの基礎知識を身につけます。このために、R の教科書を基に、重要事項を輪読＋演習形式で発表してもらいます。必要な数学的知識は教員から補足します。数学に苦手意識を持つ方も、必要な知識は最小限にしますので思い切って参加してください。</p> <p>また、同時に4年生での就職活動に向けたゼミ独自のトレーニングも始めます。</p> <p>【秋学期】基礎力の養成をつづけながら応用演習を行います。グループワークを中心として、実際にアンケートの取得や口コミサイトの調査、計量化（データにする作業）から「R」による分析を行い、結果をプレゼンテーションしてもらいます。この場合も、必要となる知識等は教員から補足があります。</p> <p>このゼミでは、参加と行動（課題の実施や発表）が最重要視されます。数学的知識については、「統計の見方（基礎統計）」を履修していればかまいません。教員のモットーは「習うより慣れよ」です。最初はわからない課題も繰り返すことにより理解し、使いこなせるようになります。まずは、みなさんの積極的な参加を期待します。</p> <p>注意：このゼミは無断欠席、遅刻は厳禁となります。ゼミ活動への不参加、無断欠席、遅刻、レポートの未提出をした学生には警告を与えうえて単位を不認定にする場合があります。履修の際に十分に注意してください。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	山崎 佳孝										
e-mail アドレス	yyama@bunkyo.ac.jp										
研究室	3412										
在室曜日・時限	金曜日の3限（研究室に来る場合、事前 Gmail で連絡してください）										
個別説明会（日時・場所）	希望者には個別に実施、Zoom/Google・Meet による										
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否	X	X	X	○	○	○	○	X	X	X
	場所				Zoom	2303	2303	2303			
2021 年度担当科目	経営組織論、人間尊重と経営、人的資源管理論、人材開発論、キャリア開発研究										
選抜方法	書類審査（申請書）と成績が中心										
ゼミナール紹介	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋学期の授業形態の変更に応じて、ゼミ見学場所が 2303 教室から Zoom に変更する場合があります。 ● Zoom によるゼミ見学者希望者は、事前に URL を Gmail で連絡をください。Zoom の URL をお知らせします。yyama@bunkyo.ac.jp <p>=====</p> <p>山崎ゼミでは、グローバリゼーション、グローバル人事、外資系企業、異文化経営、自己キャリア開発について議論します。その目的は2つあります。1つ目は、近年、急速に進むグローバリゼーションを鑑み、異文化経営環境下でより優れたパフォーマンスを発揮するために何が必要かを考え、議論します。2つ目は、ゼミ生・自身の自己キャリア開発です。特に、日本を含めて、グローバルで活躍するためには、(1)自分自身の考えをまとめてプレゼンできること、(2)グループ活動ができること、(3)英語や他国の文化に興味があることが考えられます。授業では、キャリア開発（自己ビジョンの作り方）、グローバルや異文化マネジメントに関連した文献を扱います。自己開発に関連しては、アウトプットを重視し、プレゼンテーション・スキル、チームマネジメント・スキルを育成することに焦点を当てます。英語のレベルは問いませんが、英語、海外、外国文化に興味があることが大切です。コロナ感染がおさまれば、①課外授業、②合宿、③外国人講師の異文化コミュニケーションと日本企業と外国企業の比較授業を実施します。ゼミ生同士のコミュニケーションを希望している人、グループやチームで活動することに関心がある人、海外のニュースに興味がある学生は歓迎します。</p>										

ゼミナール紹介

担当者名	山本顕一郎										
e-mail アドレス	yamamoto@bunkyo.ac.jp										
研究室	3427										
在室曜日・時限	(未定・不定期)										
個別説明会 (日時・場所)	(個別説明会は実施しない; 質問・相談等にはメール・リモート [メールで要予約] で対応)										
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/17	11/24	12/8
	可否										
	場所										
2021 年度担当科目	会社法 (ビジネスと法 A)、民法 I (ビジネスと法 B)、ビジネスと法 C、ゼミナール I・II、卒業研究										
選抜方法	定員を超えて応募があった場合には、選抜を行う。方法と基準は、法律系科目の単位取得状況と成績、その他の科目の成績を勘案し、また面接を行って、総合的に判断する。(当ゼミに応募するためには、「民法 I」もしくは「ビジネスと法 B」の単位取得が必須となる。)										
ゼミナール紹介	<p>法律は、複雑になっていく経済活動・企業活動・行政活動をスムーズに行うために必要不可欠なものであり、社会が激しく流動する現代においては、企業や個人の行動の基準としての法律が、ますます重要になる。法律は、将来、諸君が企業や自治体などで働くときに大きな武器となるであろうし、落とし穴に落ちないための智恵・知識ともなる。このゼミでは、企業活動や行政活動等に関するさまざまな法律のうち、特にインターネットにまつわる法律に焦点をあてて学び、それらを追究していく。</p> <p>ゼミでは、まず基本的な文献を読み、また実際の事件や判決を取り上げて分析することなどを行う。ゼミ受講生の報告が中心となる。また質疑・応答、議論に発展させていく。受講生がある程度の法律知識を持っていることを前提として、基本的な事項に加えて応用的かつ詳細なことがらについて、全員で追究し理解を深めていく。</p> <p>ゼミを安易に欠席することは許されない。ゼミにおいては、事前に割り当てられた事項について必要十分な調査を行った上で報告を行うことが求められる。また積極的に質問を行って議論に参加することが必要となる。</p> <p>知的好奇心が旺盛で、法律を真摯に学ぼうとする者を歓迎する。</p> <p>なお当ゼミでは、ビジネス実務法務検定試験等の資格試験を受験し合格することを推奨している。上のような努力や受験・合格実績は、ゼミの成績評価に大幅に加味するつもりである。</p> <p>このゼミを履修するためには、「会社法」もしくは「ビジネスと法 A」、「民法 I」もしくは「ビジネスと法 B」等の法律系科目を履修・単位取得しておくことを、強く勧める。特に「民法 I」もしくは「ビジネスと法 B」の単位取得は、応募の必須条件である。また、3 年次開講の「労働法」「行政法」「ビジネスと法 C」等も積極的に履修すること。</p>										